



広域広報

本 荘 由 利

平成20年6月

本荘由利広域市町村圏組合

〒015-0871 秋田県由利本荘市尾崎17番地

TEL 0184-23-2019

FAX 0184-23-4022



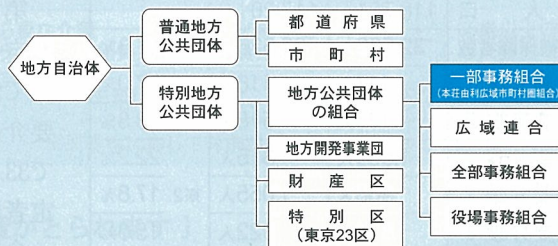
〔当組合施設の養護老人ホーム「寿荘」(福祉エリア内)の運動会が、5月29日に行われました。
縄ない競争では、施設入所者のみなさんの手馴れた動きに、ボランティアの学生のみなさんは驚いていました。〕

■ 本荘由利広域市町村圏組合とは ■

本荘由利広域市町村圏組合は、地方自治法の規定に基づき、普通地方公共団体及び特別区が、その事務の一部等を共同処理するために設ける特別地方公共団体であり、法人格を有する一部事務組合です。

昭和45年9月に設立され、これまで環境衛生、老人福祉、保健衛生、介護保険、行政事務等の分野での事業を行っています。

また、広域行政機構として、圏域の一体的な発展を目指し、構成する由利本荘市、にかほ市の主体性を尊重しながら、共同処理事務を実施しています。



本荘由利圏域の人口・世帯数・面積

平成20年5月末現在

市 名	人 口	世 帯 数	面 積
由利本荘市	88,201人	29,997世帯	1,209km ²
にかほ市	28,892人	9,487世帯	240km ²
合 計	117,093人	39,484世帯	1,449km ²

介護保険事業の状況

介護保険事務の効率的な処理と安定的な財政基盤の構築を図ることなどを目的に、由利本荘市、にかほ市の介護保険者事務に関する事業を本荘由利広域市町村圏組合の共同処理事務として実施しています。

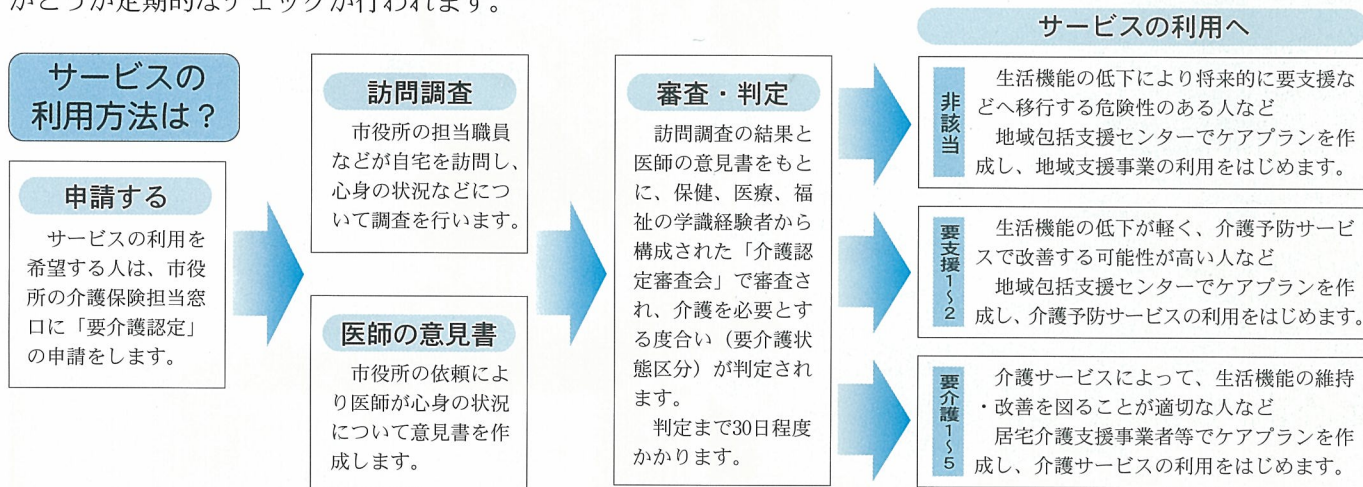
介護保険制度の趣旨をご理解いただき、介護保険事業へのご協力をお願いします。



○ 介護保険制度の概要

介護保険制度は、介護を必要とする状態となっても、自立した生活ができるよう、高齢者の介護を国民みんなで支える仕組みです。そしてまた、できるだけ従来の生活が続けられるように、介護予防を通じて支援する仕組みでもあります。

要介護認定で「要介護」と判定された方には介護給付が、「要支援」と判定された方には予防給付が1割負担で提供されます。「非該当」という判定であった方にも、要介護・要支援になるおそれがあれば、介護予防のプログラム（特定高齢者介護予防事業）が提供されます。年1回の健診等を通じて、要介護・要支援になるおそれがないかどうか定期的なチェックが行われます。



○ 認定者数・介護サービス利用者数の状況

《認定者数・利用者数等の状況》

		H19.3	H20.3	割合
総人口		118,751人	117,201人	
第1号被保険者数		32,588人	32,526人	※1 27.8%
認定者数	要支援1	447人	416人	7.0%
	要支援2	427人	518人	8.8%
	要介護1	1,555人	1,315人	22.2%
	要介護2	908人	1,055人	※2 17.8%
	要介護3	814人	922人	15.6%
	要介護4	844人	877人	14.8%
	要介護5	791人	814人	13.8%
	合計	5,786人	5,917人	※3 18.2%
利用者数	居宅	3,251人	3,382人	73.0%
	地域密着	121人	158人	※4 3.4%
	施設	1,098人	1,091人	23.6%
	合計	4,470人	4,631人	※5 78.3%

※1 総人口に対する割合
 ※2 認定者合計に対する構成割合
 ※3 第1号被保険者数に対する割合
 ※4 利用者合計に対する構成割合
 ※5 認定者数に対する割合

平成20年3月末現在で65歳以上の第1号被保険者数は前年より62人減少し32,526人で、総人口に対する割合は27.8%となっています。

第1号被保険者の18.2%に当たる5,917人の方々が要支援・要介護の認定を受けています。認定者の介護度別の割合は、要介護1が1,315人で22.2%を占め、要支援1、2と合わせた軽度者は2,249人で38%、要介護2、3の中度者が前年より255人（15%）と大幅に増加し1,977人で33.4%、要介護4、5の重度者は1,691人で28.6%となっています。認定者数は前年より131人（2.3%）の増加となっています。

介護保険のサービスは、要支援者は介護予防サービスを、要介護者は介護サービスを利用します。両サービスを合わせて認定者の78.3%に当たる4,631人の方々が利用しています。内訳は利用者の76.4%に当たる3,540人の方々が、訪問介護（ホームヘルプ）、通所介護（デイサービス）、短期入所（ショートステイ）や認知症対応型グループホームなどの地域密着型サービスを含めた居宅サービスを利用し、利用者の23.6%に当たる1,091人の方々が、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設（老人保健施設）などの施設サービスを利用しています。

○ 介護給付の現状

介護サービスの費用のうち、原則1割は利用者が負担し、残りの9割が介護保険から給付されます。平成19年度の介護給付見込総額は76億240万円で、前年より4億5,032万円（6.3%）の増加となっています。

居宅サービス給付費は給付総額の46.9%に当たる35億6,762万円で前年より2億6,412万円（8%）の増加となっています。主な内訳は通所介護が全体の16.5%の12億5,195万円、短期入所が12.6%の9億5,907万円となっています。

地域密着型サービス給付費は給付総額の4.8%に当たる3億6,686万円で前年より5,756万円（18.6%）の増加となっています。

施設サービス給付費は給付総額の42.2%に当たる32億1,029万円で前年より8,395万円（2.7%）の増加となっています。

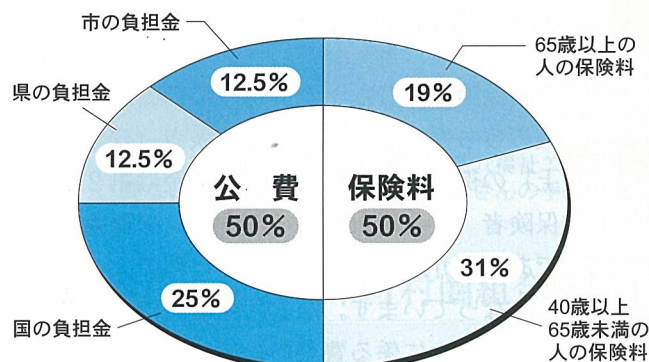
その他給付として、低所得者対策としての特定入所者介護給付や高額介護給付などで4億5,763万円となっています。

《介護給付の状況》

区分	サービス種類	平成18年度	平成19年度	増 減
居宅サービス	通所介護	11億3,407万円	12億5,195万円	1億1,788万円
	短期入所生活介護	8億1,415万円	9億 69万円	8,654万円
	介護サービス計画	4億 676万円	4億1,680万円	1,004万円
	訪問介護	3億9,458万円	4億 216万円	758万円
	通所リハビリ	1億6,612万円	1億6,110万円	△ 502万円
	福祉用具貸与	1億6,103万円	1億5,825万円	△ 278万円
	訪問入浴	5,966万円	6,256万円	290万円
	短期入所療養介護	5,449万円	5,838万円	389万円
	特定施設生活介護	1,918万円	5,703万円	3,785万円
	訪問看護	5,186万円	5,172万円	△ 14万円
	住宅改修	2,270万円	2,541万円	271万円
	居宅療養管理指導	868万円	754万円	△ 114万円
	福祉用具購入	629万円	747万円	118万円
地域密着型サービス	訪問リハビリ	394万円	657万円	263万円
	計	33億 350万円	35億6,762万円	2億6,412万円
	認知症対応型共同生活介護	3億 574万円	3億5,582万円	5,008万円
	認知症対応型通所介護	356万円	1,050万円	694万円
施設サービス	小規模多機能型居宅介護	0万円	53万円	53万円
	計	3億 930万円	3億6,686万円	5,756万円
	介護老人福祉施設	17億5,856万円	18億5,853万円	9,997万円
	介護老人保健施設	13億6,298万円	13億4,200万円	△2,098万円
その他	介護療養型医療施設	481万円	976万円	495万円
	計	31億2,634万円	32億1,029万円	8,395万円
	特定入所者介護	2億9,917万円	3億3,607万円	3,690万円
	高額介護サービス	1億 233万円	1億 991万円	758万円
その他	審査支払手数料	1,143万円	1,165万円	22万円
	計	4億1,293万円	4億5,763万円	4,470万円
	給付費合計	71億5,208万円	76億 240万円	4億5,032万円

※平成19年度は見込額です。

■ 介護保険の財源内訳



※上記円グラフの財源構成は、居宅給付費の負担割合です。



介護保険料を忘れずに納めましょう

介護保険制度は、公費と40歳以上の方が納める保険料を財源に運営しています。介護が必要となったときには、誰もが安心して介護保険サービスを利用できるように、保険料は必ず納めましょう。

平成20年度の65歳以上の人の保険料（基準額）は、

$$\text{必要な介護サービスの総費用} \times \text{65歳以上の方の負担分19\%} \div \text{65歳以上の方の人数}$$

年額50,040円、月額4,170円です。

※所得等に応じて保険料は、6段階に分かれています。

[保険料を納めないでいると、滞納期間に応じて次のような措置がとられます]

- 1年以上 ……費用の全額をいったん利用者が負担し、申請によりあとで保険給付分（9割）が支払われます。
- 1年6ヶ月以上 ……保険給付の一部又は全部が一時的に差し止めとなります。
- 2年以上 ……利用者負担が1割から3割に引き上げられたり、高額介護サービス費が受けられなくなります。

○ 問い合わせ先

本荘由利広域市町村圏組合 介護保険課

■電話番号 0184-24-3347 ■ホームページアドレス <http://www.chokai.ne.jp/honyuko/>

（要介護認定などの各種申請は由利本荘市、にかほ市の各介護保険担当窓口まで）

平成20年度当初予算

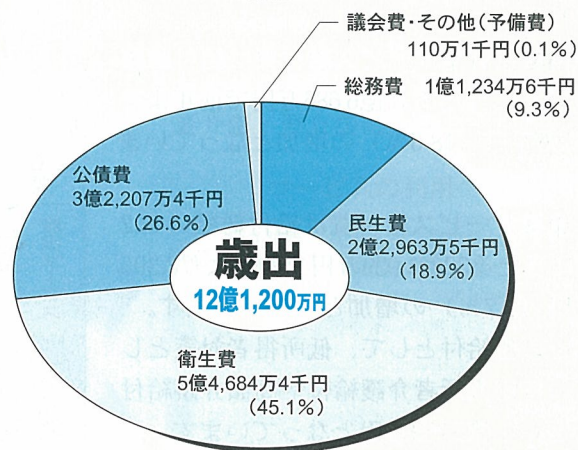
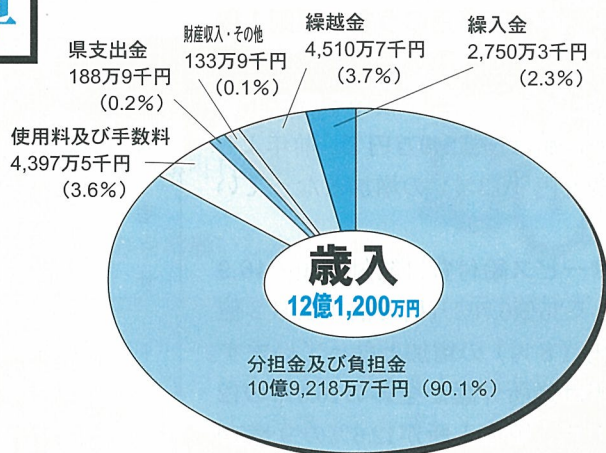
広域圏組合の予算は、一般会計と2つの特別会計からなっています。

一般会計

平成20年度の一般会計当初予算は、12億1,200万円で、歳入は、組合を構成している2市からの事業別の分担金及び負担金10億9,218万7千円が主な収入となっています。

歳出では、組合全般の管理事務などを行うための総務費1億1,234万6千円、また、養護老人ホーム寿荘の管理運営などに充てられる民生費2億2,963万5千円、し尿処理などに充てられる衛生費5億4,684万4千円となっています。

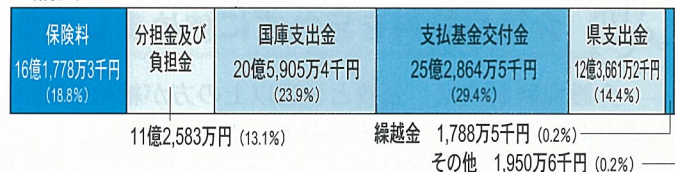
◆ 一般会計予算の内訳 ◆



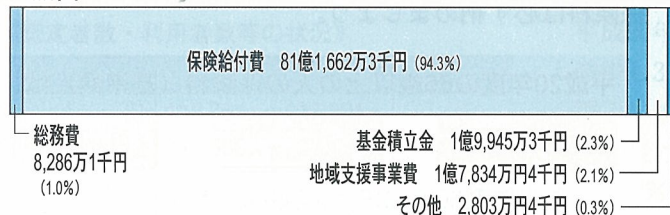
◆ 特別会計予算の内訳 ◆

▼介護保険特別会計 86億531万5千円

・歳入

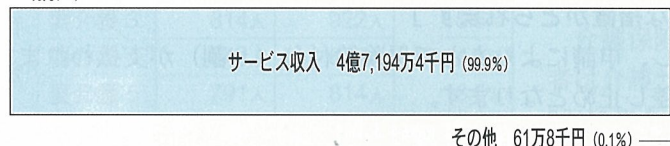


・歳出

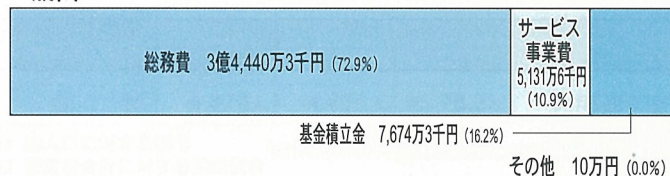


▼特別養護老人ホーム特別会計 4億7,256万2千円

・歳入



・歳出



特別会計

介護保険特別会計

介護保険給付費などを支払う特別会計です。歳入のうち保険料は第1号被保険者（65歳以上）の保険料で、支払基金交付金は第2号被保険者（40歳以上65歳未満）の保険料分であり、介護保険を運営するための大切な財源となっています。なお、保険料は地域の介護サービスに係る費用の総額に基づき算定されます。

特別養護老人ホーム特別会計

特別養護老人ホーム広洋苑の会計は、独立採算による特別会計です。

歳入は、ほとんどが施設利用者の介護によるサービス利用料で、歳出は、利用者の食事代や施設の維持費、介護職員の給与などとなっています。